

エコアクション21

環境経営レポート

令和2年度

対象期間：令和2年10月～令和3年9月

発行日：令和3年10月20日

株式会社 日豊建設

【 目 次 】

1. 組織の概要	P1
2. 認証登録範囲	P2
3. 環境経営方針	P3
4. 環境経営目標	P4
5. 環境経営計画	P5
6. 環境経営目標の実績とその評価	P6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営計画	P9
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び 評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	P12
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P12

1. 組織の概要

1. 事業所名 株式会社 日豊建設
代表者氏名 代表取締役 武石 伸二
2. 所在地 〒811-1123 福岡県福岡市早良区内野1丁目25番5号
3. 環境管理責任者 工事部長代理 堀川 和範
担当責任者 総務部 江頭 寿夫
連絡先 TEL 092-872-4611
FAX 092-803-1411
Eメールアドレス egashira@nippo-k.com
4. 事業の内容 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業
解体工事業
5. 事業年度 10月～翌年9月

事業の規模

	単位	平成30年度	令和1年度	令和2年度
売上高	百万円	1,619	2,397	1,653
従業員数	人	37	44	40
事務所床面積	m ²	895.2	895.2	895.2
倉庫床面積	m ²	41	41	41

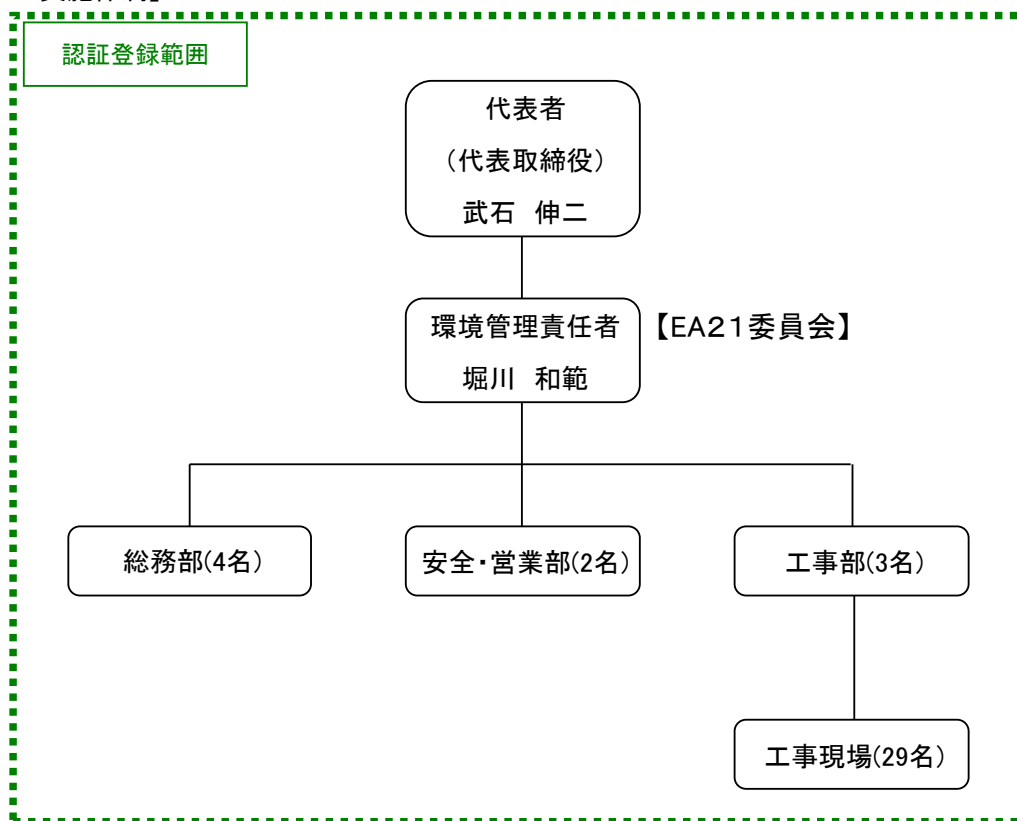
6. 取得資格名及び有資格者数

- ・1級土木施工管理技士 : 10名
- ・2級土木施工管理技士 : 6名

2. 認証登録範囲

- ・対象範囲 全組織
- ・事業活動 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、塗装工事業、水道施設工事業、解体工事業

【EA21実施体制】



【役割分担表】

所 属	氏 名	役割・責任・権限
代 表 者	武石 伸二	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21全体について責任と権限を持つ ・経営における課題とチャンスを確認にする ・環境方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境への取組を実施する為の資源(人・物・金)を準備する ・取組状況に関し、評価・見直しをする
環境管理責任者	堀川 和範	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築し、実行・維持する ・取組結果を代表者へ報告する
総務部 (事務局)	横江 純一 江頭 寿夫	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21文書の作成・維持・管理を行う ・環境関連法規を整理し、取りまとめる ・電力・節水の管理を行う
安全・営業部 工事部	田中 幸夫 四宮 清	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐を行う ・産業廃棄物の削減・分別・リサイクルの管理を行う ・重機及び車両の燃料抑制の管理を行う
EA21委員会	上記メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の状況報告 ・環境活動計画の見直し・検討を行う

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

当社は土木建設業を主な事業とし、事業活動を通じて地球に与える環境負荷を認識し、環境経営システムによる継続的な環境負荷の低減に努め、限りある資源と地球環境の保全を推進し、環境経営の継続的な改善を実施します。

1. 環境経営システムを構築し、次の事項を重点的なテーマとして取り組みます。
 - a. 省エネ・省資源活動の推進
 - b. 廃棄物の削減とリサイクルの促進
 - c. 水資源の使用量削減
 - d. 地域貢献活動
 - e. グリーン製品の使用を促進
 - f. 化学物質の適正管理
 - g. 環境に配慮した現場施工
2. 事業活動に関わる環境関連法規制等を遵守する。
3. 環境経営レポートを公表し、地域社会とのコミュニケーションを図る
4. この環境方針を全社員に周知し、環境負荷の低減に対する意識向上に努める。

制定日：平成21年 8月 1日

改定日：令和 2年 4月 1日

株式会社 日豊建設

代表取締役 武石 伸二

4. 環境経営目標

【事務所及び現場】

環境目標		単位	H29年度 (基準年)	H30年度	R1年度	R2年度
			(H29年10月 ～H30年9月)	(H30年10月 ～R1年9月)	(R1年10月 ～R2年9月)	(R2年10月 ～R3年9月)
事務所	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	34,012	33,842以下 (△0.5%)	33,672以下 (△1.0%)	33,502以下 (△1.5%)
	(1)電気使用量の削減	kWh	46,244	46,013以下 (△0.5%)	45,782以下 (△1.0%)	45,550以下 (△1.5%)
	(2)ガソリン使用量の削減	ℓ	3,459	3,442以下 (△0.5%)	3,424以下 (△1.0%)	3,407以下 (△1.5%)
	(3)灯油使用量の削減	ℓ	1,139	1,133以下 (△0.5%)	1,128以下 (△1.0%)	1,122以下 (△1.5%)
現場	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	476,035	473,655以下 (△0.5%)	471,275以下 (△1.0%)	468,894以下 (△1.5%)
	(1)ガソリン使用量の削減	ℓ	28,663	28,520以下 (△0.5%)	28,376以下 (△1.0%)	28,233以下 (△1.5%)
	(2)軽油使用量の削減	ℓ	155,820	155,041以下 (△0.5%)	154,262以下 (△1.0%)	153,483以下 (△1.5%)
事務所	一般廃棄物排出量の削減	t	0.31	0.308以下 (△0.5%)	0.307以下 (△1.0%)	0.305以下 (△1.5%)
	産業廃棄物排出量の削減	t	18.40	18.31以下 (△0.5%)	18.22以下 (△1.0%)	18.12以下 (△1.5%)
事務所	水使用量の削減	m ³	509	506以下 (△0.5%)	504以下 (△1.0%)	501以下 (△1.5%)
事務所 現場	地域貢献活動	回/月	4	4	4	4
事務所 現場	グリーン製品の使用促進	—	グリーン製品の優先購入			
現場	化学物質の適正管理	—	使用する製品に含まれる化学物質の把握と管理を行う			
現場	建設リサイクルの推進	—	現場での分別を徹底し他の工事で使用できる物を有効活用する			
現場	環境に配慮した現場施工	—	環境にやさしい低公害機械、器具使用の推進			

※ 電力排出量の排出係数は、平成28年度九州電力(株)調整後排出係数「0.483kg-CO2/kWh」を使用

※ 備考:(%)は、平成29年度を基準とした削減率

5. 環境経営計画

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		統括 責任者	活動項目		責任者
1	電気使用量の削減	横江	1	エアコン設定温度を決め、実行する(夏28℃ 冬20℃)	江頭
			2	使用箇所だけ点灯し、未使用箇所の消灯確認	江頭
			3	昼休みは消灯する(電灯・パソコン等)	江頭
			4	グリーンカーテンを活用し、冷房の使用を控える	江頭
2	ガソリン・軽油使用量の削減	横江	1	社有車をエコカーへ切り替える	四宮
			2	始業前点検を徹底し、故障等の対処を早めに行う	四宮
			3	低騒音・低振動・低燃費の重機の使用	四宮
			4	自動車・重機によるエコ運転の推進	四宮
3	灯油使用量の削減	横江	1	お湯を流したまま使用しない	江頭
			2	給湯温度の管理	江頭

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		統括 責任者	活動項目		責任者
1	廃棄物排出量の削減	横江	1	廃棄物の分別を徹底する	江頭
			2	ミスコピーの防止・裏紙使用の促進	江頭
			3	使用済み封筒を再利用する	江頭
		横江	1	マニフェストの適正管理をする	田中
			2	資材等を再利用し、長期有効活用する	田中

3. 水使用量の削減

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	上水使用・地下水使用量の削減	横江	1	節水活動の推進	江頭
			2	使用量の把握と管理を行う	江頭

4. 地域貢献活動

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	地域貢献活動	横江	1	毎週月曜日の朝礼前に周辺の清掃を全員で行う	江頭
			2	環境の日(6/5)環境保全活動を行う	江頭
			3	地域防災・防犯活動に参加する	江頭

5. グリーン購入の促進

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	グリーン購入の促進	横江	1	グリーン製品の優先購入	江頭

6. 化学物質の適正管理

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	化学物質の適正管理	横江	1	使用する製品に含まれる化学物質の把握と管理を行う	堀川

7. 建設リサイクルの推進

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	建設リサイクルの推進	横江	1	現場での分別を徹底し、再利用できる物を有効活用する	田中

8. 環境に配慮した現場施工

取組目標		責任者	活動項目		責任者
1	環境に配慮した現場施工	横江	1	環境にやさしい低公害機械、器具使用の推進	四宮

6. 環境経営目標の実績とその評価

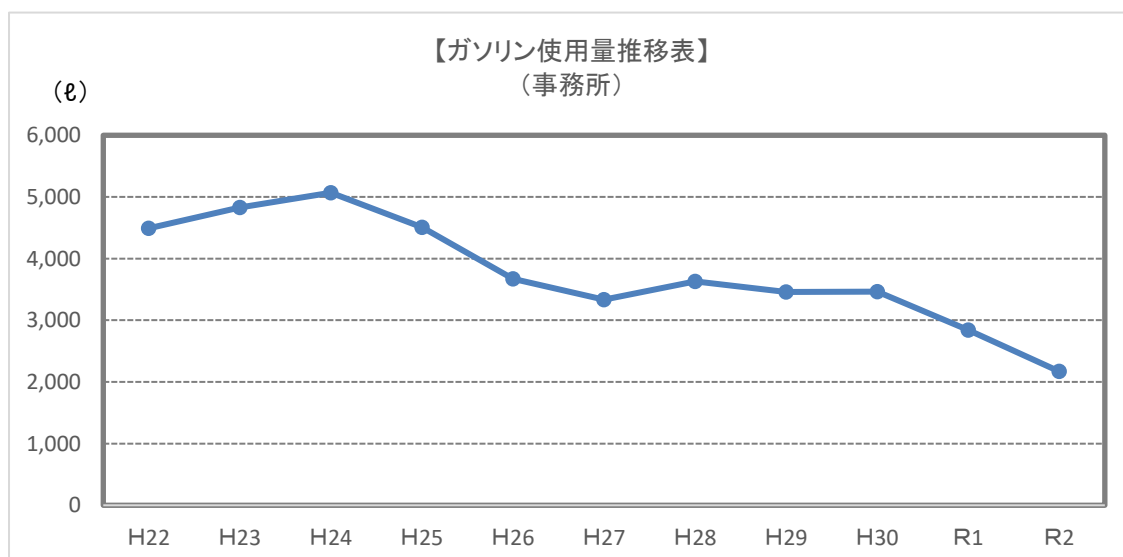
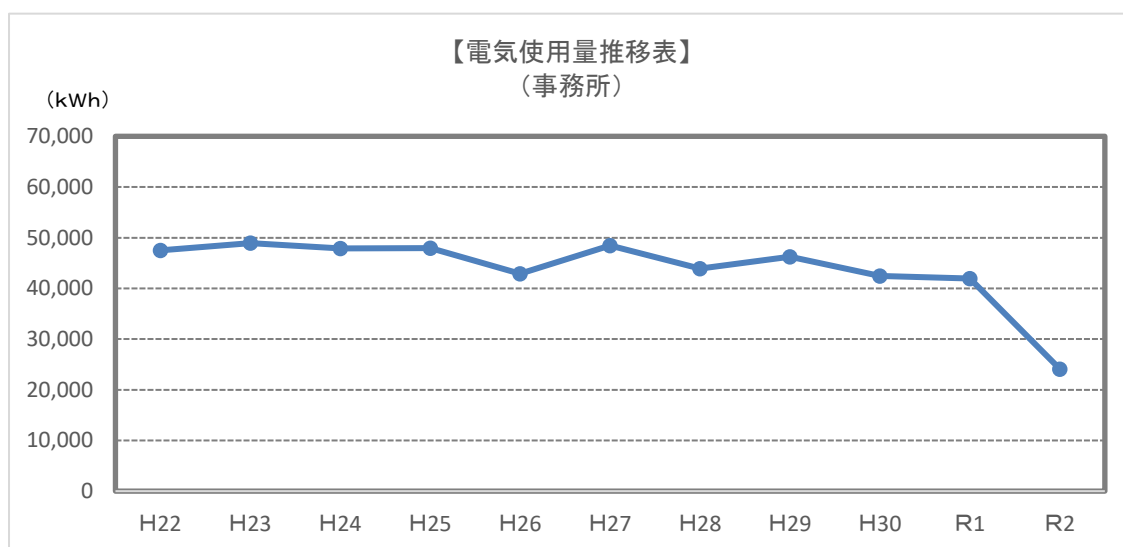
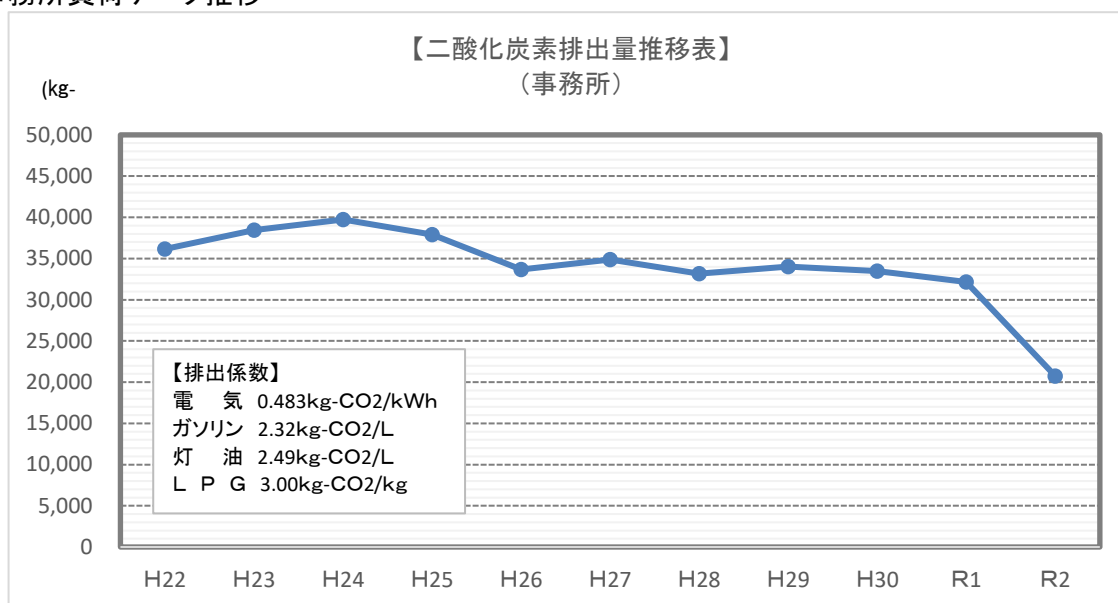
【事務所及び現場】

環境経営目標	単位	平成29年度 (基準年) 実績	令和2年度		目標達成 の判定	
			目標	実績		
事務所	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	34,012	33,502以下	20,742	○
	(1)電気使用量の削減	kWh	46,244	45,550以下	24,102	○
	(2)ガソリン使用量の削減	ℓ	3,459	3,407以下	2,170	○
	(3)灯油使用量の削減	ℓ	1,139	1,122以下	895	○
現場	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	476,035	468,894以下	217,172	○
	(1)ガソリン使用量の削減	ℓ	28,663	28,233以下	30,877	×
	(2)軽油使用量の削減	ℓ	155,820	153,483以下	55,524	○
事務所	一般廃棄物排出量の削減	t	0.31	0.305以下	0.226	○
	産業廃棄物排出量の削減	t	18.4	18.12以下	1.77	○
事務所	水使用量の削減	m ³	509	501以下	476	○
事務所 現場	地域貢献活動	回/月	4	4	4	○
事務所 現場	グリーン製品の使用促進	—	グリーン製品の 優先購入	グリーン製品の優 先購入	優先購入良好	○
現場	化学物質の適正管理	—	把握と管理	把握と管理	実績なし	—
現場	建設リサイクルの推進	—	分別と再利用	分別と再利用	分別、再利用良好	○
現場	環境に配慮した現場施工	—	低公害機械、 器具使用の推進	低公害機械、 器具使用の推進	低公害機械使用 良好	○

※ 電力排出量の排出係数は、平成28年度九州電力(株)調整後排出係数「0.483kg-CO2/kWh」を使用

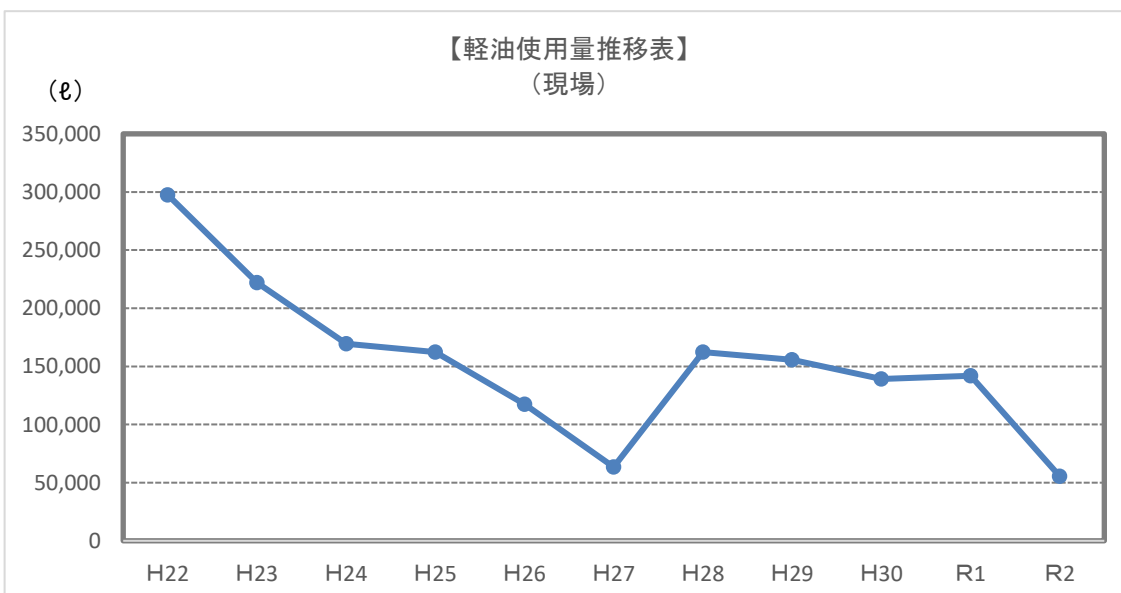
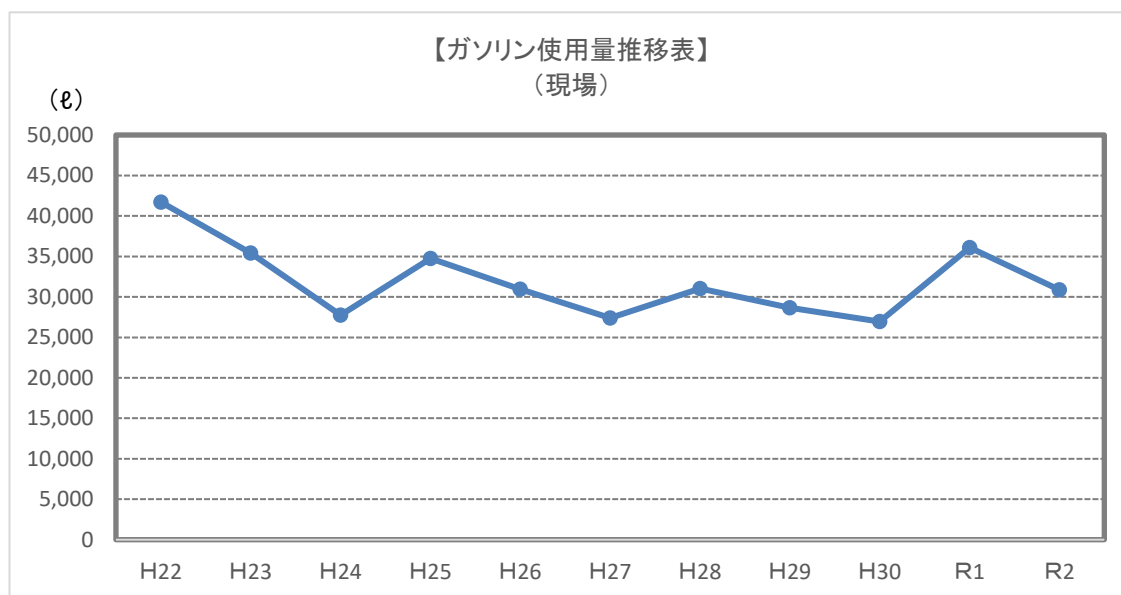
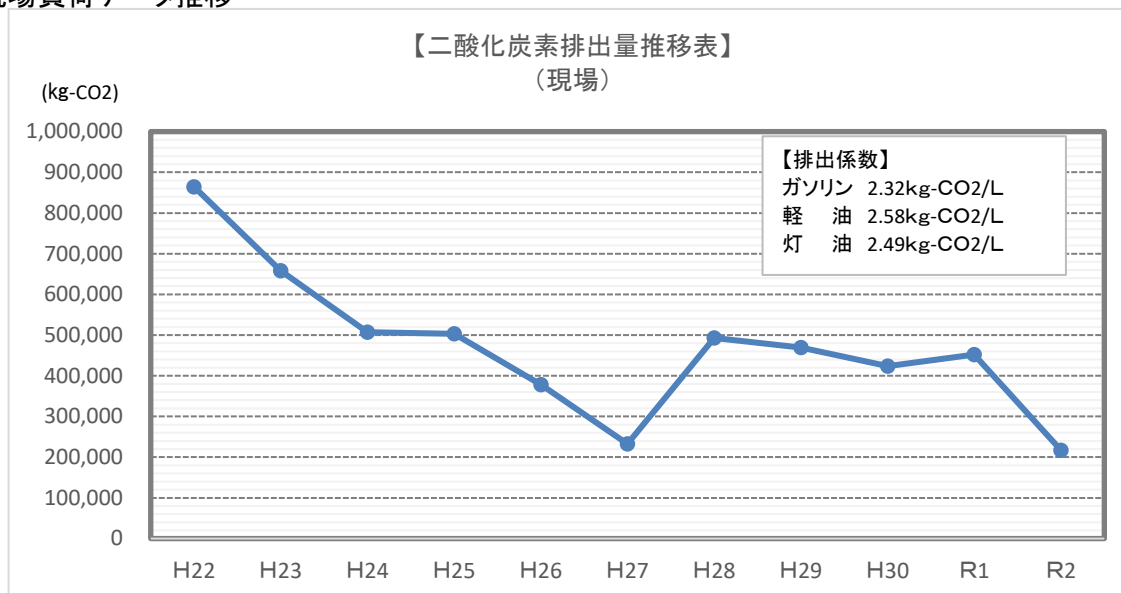
【環境負荷データ推移表】

1. 事務所負荷データ推移



【環境負荷データ推移表】

2. 現場負荷データ推移



7. 環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営計画

取組項目		取組結果	評価及び次年度取組内容
二酸化炭素排出量の削減	電力削減	1 エアコン設定温度を決め、実行する(夏28℃ 冬20℃)	○ エアコンの設定温度に気を付けて取組を行いました。 未使用箇所の消灯や昼休みの消灯確認は良く実施されています。 グリーンカーテンの取組を行い冷房の使用を控えることができました。 次年度も継続して活動に取組む。
		2 使用箇所だけ点灯し、未使用箇所の消灯確認	
		3 昼休みは消灯する(電灯・パソコン等)	
		4 グリーンカーテンを活用し、冷房の使用を控える	
	燃料削減	1 社有車をエコカーへ切り替える	○ 1月にエコカーへ1台入替を行いました。 始業前点検は良く実行されていました。 工事繁忙期及び現場間の移動が増加したためガソリン使用量の目標は達成できなかったが、自動車・重機によるエコ運転の取組は良く実行されていました。 次年度も継続して活動に取組む。
		2 始業前点検を徹底し、故障等の対処を早めに行う	
		3 低騒音・低振動・低燃費の重機の使用	
		4 自動車・重機によるエコ運転の推進	
		1 お湯を流したまま使用しない	○ お湯を流したまま使用しないよう注意喚起を行いました。 次年度も継続して活動に取組む。
		2 給湯温度の管理	
一般廃棄物排出量の削減	1 廃棄物の分別を徹底する	○ 廃棄物の分別は良く行われていました。 再利用も定着し良く実施されています。 マニフェストは管理は良好です。 次年度も継続して活動に取組む。	
	2 ミスコピーの防止・裏紙使用の促進		
	3 使用済み封筒を再利用する		
産業廃棄物排出量の削減	1 マニフェストの適正管理をする	○ 現場は下請中心の為、廃棄物データは収集できない。	
	2 資材等を再利用し、長期的有効活用する		
水使用量の削減	1 節水活動の推進	○ 節水活動は良く行い目標達成できました。 今後も継続して取り組んでいきます。 次年度も継続して活動に取組む。 現場は下請中心の為、データ収集できない。	
	2 使用量の把握と管理を行う		
地域貢献活動	1 毎週月曜日の朝礼前に周辺の清掃を全員で行う	○ 毎週清掃活動は良く行われている。 地域防災活動にも参加しています。 次年度も継続して活動に取組む。	
	2 環境の日(6/5)環境保全活動を行う		
	3 地域防災・防犯活動に参加する		
グリーン製品の優先購入	グリーン製品の優先購入	○ グリーン製品を優先的に購入しています。 次年度も継続して活動に取組む。	
化学物質の適正管理	使用する製品に含まれる化学物質の把握と管理を行う	実績なし 次年度も継続して活動に取組む。	
建設リサイクルの推進	現場での分別を徹底し、再利用できる物を有効活用する	○ 分別・再利用は良く行われていました。 次年度も継続して活動に取組む。	
環境に配慮した現場施工	環境にやさしい低公害機械、器具使用の推進	○ 環境に配慮して機械の選定は良くなされている。 次年度も継続して活動に取組む。	

【環境活動状況】



[節電の取組状況]



[グリーンカーテン設置状況]



[廃棄物の分別取組状況]

【環境活動状況】



[節水の取組状況]



[現場周辺清掃状況]



[防災パトロール状況]



[防犯パトロール状況]

8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

当社の事業活動において法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりである

適用される法規制等	適用される事項(施設・物質・活動等)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	事業系一般廃棄物、産業廃棄物、適正処理
建設リサイクル法	廃棄物の抑制、再資源化に要する費用の削減
騒音規制法	規制基準の遵守
振動規制法	指定地域内の特定建設作業届出の遵守
大気汚染防止法	解体等工事に係る調査及び説明、作業基準の遵守
消防法	危険物の適正管理
フロン排出抑制法	第一種特定製品の簡易点検
労働安全衛生法(石綿障害予防規則)	労働者への危険有害性の調査、防止措置

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 環境への取組状況について

- ・ 環境経営目標の二酸化炭素排出量・廃棄物排出量・水使用量は達成することが出来ました。現場取組のガソリン使用量が目標未達成となったが、主な原因として現場間の移動増加による車両使用が大きな要因となっていると思われます。全体の取組については、全社員で目標達成に向けて取り組んでおり評価いたします。
- ・ 地域貢献活動は、毎週の周辺地域清掃を継続しており、地域防災活動・防犯パトロールへも新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し出来る限り参加したいと思います。

今後も全社員が環境活動に対し高い目標をもって行動出来るよう検討・指導を行っていきます。

2. 見直しの必要性について

- ・ 環境経営方針については継続して取組んでいきます。
- ・ 環境経営目標・計画は、中長期計画が今期で最終年度となり、新たに令和2年度の実績を基準年として中長期計画を設定し従業員の意識向上に取り組む。
- ・ 環境経営システムは変更の必要性を感じないため、継続していきます。